

令和元年第2回市民福祉委員会会議録

令和元年6月6日

第2委員会室

開 会： 午後1時28分

委 員 長 橋本 平紀

副委員長 堀 光明

2番委員 佐々木 透、3番委員 中嶋 元則、4番委員 遠山 信子、5番委員 柘植 羌

委員長 ; 令和元年第2回市民福祉委員会を開会いたします。本日の会議は、去る6月3日の本会議において、当委員会に付託された議案の審査であります。議事の進行は別紙の次第書の順序で行いますので、よろしくお願い申し上げます。それでは、はじめに小坂市長にご挨拶をお願い申し上げます。

市長 ; 皆さん、こんにちは。本日は第2回となりました市民福祉委員会でございます。どうぞよろしくお願いいたします。少し報告を申し上げますと6月1日土曜日でございますが、瑞浪恵那道路整備促進協議会に皆さまご参加いただきまして本当にありがとうございました。537名の方に当日ご参加いただいたということでございます。それから来週以降ですけれども、中部地方整備局そして国の方にも、また、議長さんにもご足労願ひまして要望を続けて参ります。事業は完全に動き始めました。引き続きご支援よろしくお願いいたします。それから6月2日日曜日でございますが、健幸フェスタ in えな 2019 が開催されまして、全体では8千人の人出であったというふうに聞いております。議員の皆さまにもご参加いただきまして大変ありがとうございました。6月5日はリサイクル de (で) スポーツ推進と言うことで新聞や古紙を回収しながら利用促進しようと、こんなことも体育連盟では取り組みをさせていただいておりまして、全体に健康、そしてスポーツといったものに対しての活動が広がりをもってきたというふうに思っております。また、引き続きいろいろなご意見をいただきながら進めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。本日は1件のみのご検討でございます。どうぞ最後までよろしくお願いいたします。

委員長 ; ありがとうございました。続きまして後藤議長、ご挨拶をお願い申し上げます。

議長 ; 皆さん、ご苦労さまでございます。きょうは第2回の市民福祉委員会でございます。珍しく市民福祉委員会、議題がほとんど無くて予算だけということでございますので、

慎重審議よろしく願いいたします。

委員長 ; ありがとうございます。それでは議題に入ります。議案の内容は本会議において詳細説明まで受けておりますので、直ちに委員の質疑、それに対する答弁、討論、採決という順序で進めてまいります。なお、発言につきましては、委員長の許可を得て、必ずマイクのランプの点灯を確認し、マイク正面に向かって簡潔に質疑、答弁をされますようお願い申し上げます。

委員長 ; はじめに、「議第50号 令和元年度恵那市一般会計補正予算（第3号）（歳入歳出所管部分）」を議題といたします。本件に対する質疑を行います。ご質疑はありますか。4番委員。

4番委員 ; 保健センター一般経費でお願いします。明智の保健センターが解体されることになりましたけど、これはアスベストが入っているのでこの時期になったということですが、アスベストの所に子どもたちも行っていた訳ですけども、そういうことでは健康とか身体にはなんの影響もなかったでしょうか。

委員長 ; 健幸推進課長。

健幸推進課長 ; アスベストが壁に吹き付けられてはありましたけども、それが飛散するという心配はございませんでしたので、健康被害はありませんでした。

委員長 ; 他にありませんか。4番委員。

4番委員 ; もうひとつ続けてお願いします。この解体費用はアスベストに関してお金が国から出るということでしたけども、市内にアスベストを使った施設が他にあったら、解体する時に大変なことになると思いますが、今後のことも含めて何カ所ぐらいあるか調べてみえるでしょうか。もし、調べてみえなかったら是非調べて報告していただきたいと思います。それから、このアスベストを解体する時に飛散して粉末を吸うと中皮腫とか肺がんになるということで亡くなられた方を私は知っているんですけども、子どもの時に近くにこういう所があって、昔で言うと石綿ですかね。吸ってて大人になられてから肺気腫で亡くなられたんですけども、原因が子どもの時のことだったんですよね。だから、20年40年の範囲で出る訳ですから、この辺りで解体の工事の時に付近の人達の危険ということについてはどのように対応されるのかということ。また、これは業者の問題なのでほかっておけば良いということかも知れませんが、業者さんの中で、あるいは地域の人の中で、やがてこういう病気が発生しないためにも恵那市の名前が出ますからね。安全を期してということで、そのようなことについてはどのような対応、あるいは業者さんとの話が出来ているのでしょうか。

委員長 ; 健幸推進課長。

健幸推進課長 ; 昭和 38 年頃から 50 年度ぐらいまでに建てられた建物については、アスベストが使用されている確率が高い建物が建っているというふうに伺っております。今後ですけれども、市内にどれくらい建っているかというところはまだ把握されていないようですが、今後、順次把握して行く予定もあると伺っております。あと、解体工事にかかる時に飛散して吸い込んでしまうという危険があるわけですが、今回の石綿を取り除く作業方法についてもいろいろあるわけですが、今回示されている工法の中には事前準備から作業開始前の準備とか労働者にもきちんと教育をなさないと、石綿が外に飛び散らないように検査をなさないとということがきちんと示されておりますので、そのような心配はないかというふうに思っております。

委員長 ; 他にありませんか。健幸推進課長。

健幸推進課長 ; 地域協議会の方には解体についてということで多目的駐車場にして欲しいというような要望を受けておりましたので、解体工事にあたる時には今回こういうふうに決まりましたということでお知らせはしていこうと思っております。

委員長 ; 他に。4 番委員。

4 番委員 ; ありがとうございます。また、是非慎重によろしくお願いします。次に福寿苑の大規模改修実施設計業務委託料についてお聞きいたします。今度、設計費ということでお金が出たんですが、この居室の増床を 10 床としたという訳は 7 年後を見込んで、10 床という数がどうして出てきたのかなと思いましたが、指定管理者との協議の内容に時間がかかったようなことをお聞きしましたが、主なこの内容の課題は何だったんでしょうか。そして、また 10 床とした訳を教えてください。

委員長 ; 高齢福祉課長。

高齢福祉課長 ; 10 床増床の予定ですが、第 7 期介護保険事業計画の中では 30 床の増床を目指しております。昨年度、明日苑のショートステイの 10 床を入所施設に転用いたしまして 10 床を確保いたしました。今回、福寿苑の 10 床につきましては、昨年度基本調査を行いまして、こちらの施設は急傾斜地に造られているため、懸造りになっておりますけれども、その設計会社との打合せの中で増床にあたり経費も含めて施設、この敷地内で無理のない配置を考えると 10 床ぐらいが妥当であろうということで決まりました。また、指定管理者との打合せの中で一番問題になったのは職員の確保についてで、人員体制が整えられるのかというところで最も協議をしたところでございますが、指定管理者の方でも試算をいたしまして、人員確保に努めるというご回答をいただきましたので、その結果を受けて決定いたしました。

委員長 ; 他にありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; それでは、予防接種の事についてお聞きしてよろしいでしょうか。385 万 9,000 円の予算がついているのですが、これについては前から説明があった訳なんですけども、風疹抗体の検査ということで、昭和 37 年で 57 歳、それから昭和 54 年の 40 歳からの男子が対象ということですが、この 17 年間の男子が対象になるということは今なぜこういうことが起きているのでしょうか。教えて下さい。

委員長 ; 健幸推進課長。

健幸推進課長 ; この年代の人達は、国の公的な制度で予防接種の補助を受けていない世代になります。

委員長 ; 他にありませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 続けてお願いいたします。この抗体を受ける人が今回は昭和 47 年から 54 年で 40 歳から 47 歳の人が受ける訳ですよね。大方何人の人が対象者になるんでしょうか。そして、この恵那市で生まれた人で市外に行っちゃった人はどうなるのかなということをお聞きしたいです。それから、抗体の検査を受けない人は今後どのような指導があるのでしょうか。385 万 9,000 円ついているんですが、この費用は人数に関係すると思いますが、どのぐらいの人が受けてくれて抗体の検査が出来るということを期待してみえるのか。それから、検査費用は無料でしょうか。そして、実際にワクチンを打たなきゃいけない人はその費用は無料でしょうか。また、57 歳まで今回受けなかった人については、どうされるのでしょうか。教えて下さい。

委員長 ; 健幸推進課長。

健幸推進課長 ; 今回の対象にしている昭和 47 年から 54 年の男性の人数は 2,330 人ということになります。市外の方達、恵那市で生まれて市外の方達ということですが、これは全国の事業になりますので住所地のある市町で受ける権利はきちんと保障されております。何人ぐらい受ける予定にしているかという所ではありますが、国が全体で何パーセントぐらいというものを持っておりまして、大体 31% ぐらいの人が受けるだろうというような見込みでしたので、恵那市の場合もそれに当てはめまして、720 人ぐらいの方が受けてくださるのではないかなと思っております。検査方法によって単価はそれぞれ違う訳ですけども自己負担は無料ということになっています。抗体価が先ほど説明を忘れたのですが、その年代の人というのが風疹に対する抗体価が少し低い方達ということになっております。ただ 8 割ぐらいの方はたぶん抗体価があるので、その方達の抗体価を上げる目的ということになっておりまして、ワクチンの数量にも限りがありますので、今回、抗体検査をして抗体が低い方達に対してワクチンを接種させていただく。その人数についてはこれも国の試算に基づきまして、130 人ぐらいかなという

ふうには思っておりますけれども、その辺は分からないのですが、ワクチンを打たれる方の自己負担も無料ということになっております。

委員長 ; 他にありませんか。1 番委員。

1 番委員 ; 地域医療確保対策事業費でお聞きしたいんですけど、これ県の制度に則ってやると思うんですけど、この奨学金を受けた方に対してはどのような縛りがあるのか1 点聞きたいのと、県は奨学金を出すと思うんですけど、どの程度奨学金を出すか、その2 点お願いします。

委員長 ; 医療福祉部次長。

医療福祉部次長兼地域医療課長 ; 奨学金を受けた方でございますけど、大学を卒業されて臨床研修の期間が2 年ございまして、その後に後期研修が4 年ございますけど、その間の4 年間で東濃エリアでまずは勤務していただくということと、その内2 年以上は恵那市で勤務してもらうという縛りがございます。それと、県の地域枠の奨学金ですけど、同じような縛りがあるのですが、6 年間で約 1,000 万円 の奨学金で、今回の恵那市の地域医療コースで対応しているものは県の枠にプラス月 10 万円を足したという制度でございます。県の地域枠は一応定員が 28 名で、そのうち今回地域医療コースになった方が恵那市を含めて4 人いるという状況でございます。

委員長 ; 他にありませんか。3 番委員。

3 番委員 ; 福寿苑のことについてお聞きしますが、全協の資料に福寿苑の平面図がありますが、この 10 床を増床するという今現在計画をされているところが決まっていれば教えて欲しいということと、昨年、明日香苑で 10 床増やして、ディサービスの方を 10 名減らしたということで、福寿苑は介護通所が 20 名ということで、このことについては削減はないのですか。

委員長 ; 高齢福祉課長。

高齢福祉課長 ; 増床する場所ですけれども、まだ具体的には現在決まっておりませんので、実施設計の中で具体的に決めたいと思っております。それから、福寿苑のディサービスの件ですけれども、現在利用がやや減っているような状況でございますが、定員管理につきましては、将来のこともございますので、将来の推計を考えながら検討していきたいと思っております。

委員長 ; 他にありませんか。3 番委員。

3 番委員 ; 明智の保健センターの解体事業について、ひとつだけお伺いしますが、アスベストを除去しないといけないということで、解体が延びたということですが、リシン塗装にアスベストが入っているという説明なんですけど、今のリシンの塗装というのはアスベ

ストは入っていないとは思っているんですけども、何年頃のリシンの工事なのか。建設以来一回も変えていないのかということと、リシンについては吹き付けの工法とまたはコテ塗りと2つの工法があると思うんですけども、どちらの工法でやられたもののなのか分かりますか。

委員長 ; 健幸推進課長。

健幸推進課長 ; 明智の保健センターは昭和61年4月から使われております。60年度中の建設になっております。吹き付けの工法までは把握していないですがよろしいですか。

委員長 ; 3番委員。

3番委員 ; 実際は吹き付けの方がのる量が薄いんですよね。コテ塗りの方が厚くなって除去費用もかかるといったものですからどうかな、というふうでお聞きしたんですが、吹き付けの方が私は安心はしていますが。

委員長 ; 他にありませんか。4番委員。

4番委員 ; 福寿苑ですけども、ショートが10名、通所が20名ということで、これに更に10名、今50人、ユニットと従来型とで60人、ここに10人いる訳ですが。団塊の世代の人の入所が考えられるということで10床ということですけど、働く人も含め、今の福寿苑で今後のニーズに人が合っていけるということに決められておるんですが、そのところが心配ですけどどうですか。

委員長 ; 高齢福祉課長。

高齢福祉課長 ; 今回、第7期介護保険事業計画の中で30床増床したのは団塊世代が75歳を迎える令和7年に向けて準備を整えているような状況でございます。将来的には市の高齢化率も高くなりますし、また、75歳以上の後期高齢者の方も増えていくということを見込んで増床するということにいたしました。また、新規に特別養護老人ホームを造りますとまた、それに伴うコストが多くかかりますので出来るだけ既存の施設の中で増床したいということもひとつあります。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし。」と声あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。本件に対する討論はありますか。

(「なし。」と声あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第50号 令和元年度恵那市一般会計補正予算(第3号)(歳入歳出所管部分)」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(全 会 一 致)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第 5 0 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 以上で予定の議題を全て終了しました。最後に、本会議における委員会審査結果報告書の作成については、正副委員長に一任いただくことに、ご異議ありませんか。

(「異議なし。」と声あり)

委員長 ; ありがとうございます。それではこれもちまして、令和元年第 2 回市民福祉委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。

午後 1 時 51 分閉会

恵那市議会委員会条例第 30 条の規定によりここに署名又は押印する。

恵那市議会 市民福祉委員長 橋 本 平 紀